

建築学アラカルト 2025

「折り紙建築で世界遺産をつくってみよう」「大工道具の歴史」

2025年8月4日（月）豊田高専建築学科棟の造形デザイン室において、建築学科の教職員およびアシスタント学生による公開講座「建築学アラカルト 2025」が開催されました。

本講座は、中学生を対象とした講座で、ペーパークラフトによる平等院鳳凰堂の作製と、ノコギリの使用体験してもらいました。本講座は大変人気のある講座で、たくさんの応募がある中、収容人数の関係から、抽選の結果22名のみが受講することができました。

開講式の後、最初にスライドを用いてユネスコ世界遺産となっている平等院鳳凰堂について学んだ後、ペーパークラフトを用いて平等院鳳凰の作成に取りかかりました。用紙に切り込みを入れてゆき、飛び出す絵本のように建物が立ち上がったら完成です。この製作ではカッターを引き使いで使う事、日本建築の複雑さを感じることもポイントです。

次に同じくユネスコの無形文化遺産となっている日本の伝統的木造建築技術について大工道具の歴史のスライドを通じて学び、日本と海外のノコギリで実際に木材を切ってもらって、その木造技術の違いを体験してもらいました。

受講生はスライドや、平等院鳳凰堂の作製と国内外のノコギリの使用体験を通じて、日本の伝統的建築への興味を持ったようでした。普段なかなかできない体験であったため、真剣な表情で先生の話聞いて作業に取り組んでいました。



世界遺産・平等院鳳凰堂の講義



ペーパークラフトの製作



ペーパークラフト



大工道具の講義



和ノコギリ体験



洋ノコギリ体験